

参加申し込みにあたって

講座参加を希望される方は、下記の申込書に記入のうえ、郵送・FAX・E-mail のいずれかでお申し込みください。選考結果を申込者全員に通知します。受講申込書の様式は、岡山県文化振興課のホームページ「トピックス」からダウンロードすることもできます。

※受講生の自主的な活動と実践を通じて、必要なスキルや技術等を習得していただきます。

対象者　－ 20 名程度 －

- 岡山県在住または通勤、通学をしている方で、文化を活用した地域づくりに挑戦したい18歳以上の方。
- 可能な限り全ての講座に出席可能な方。（優先すべき事柄がある方は、申込書その他の欄に明記してください。）
- 講座や実証イベントの開催会場へ、ご自身でお越しになれる方。（送迎はありません。）

受講料（講座初日に現金でお支払いいただきます。）

- 年間 5,000 円（学生 3,000 円）
- 講座にかかる交通費等は、受講生の自己負担となります。

申込み締切

令和7年 **5月30日** (金) (必着)

※ 受講にあたっての注意事項

- ・ 受講生に選考された場合、氏名・住所（市町村名）・写真は、講座資料や講座の広報資料などに掲載されることがありますので、ご了承ください。
- ・ 申込書にご記入いただいた個人情報は、講座の運営を行う目的以外には使用しません。
- ・ 応募者が多数の場合は、申込書をもとに事務局において受講生を決定します。
- ・ 全ての受講生は、ボランティア保険に加入します。
- ・ お支払いいただいた受講料は、返金できません。

お問い合わせ
お申し込み先

〒700-8570
岡山市北区内山下2丁目4番6号
岡山県環境文化部文化振興課内
アートで地域づくり実践講座事務局
TEL：086-226-7903（平日8:30～17:00）
FAX：086-233-5720
E-mail：art-chiiki@pref.okayama.lg.jp

----- キリトリ -----

令和7年度
アートで地域づくり実践講座申込書

申込書に記入のうえ、郵送・FAX・E-mail
のいずれかでお申し込みください。

ふりがな				満年齢 (R7.4.1 時点)	歳
氏 名					
住 所	〒				
職業（学生は 学校・学部名）					
電話番号	() - (携帯・自宅・勤務先) (連絡可能時間： 時～ 時頃) ※電話番号は、もっとも連絡がつきやすいものをご記入ください。				
FAX	() -	E-mail	@		
経歴（得意分野や、地域文化活動歴等があれば記入してください。）					
その他 講座への参加動機や特筆事項を記入してください。				参加手段（該当に○）	
				車 ・ 公共交通機関 その他（ ）	

令和7年度

ARTで地域づくり実践講座 in 備前市

県内で地域資源と
文化芸術を
活用したイベントの
企画・マネジメントをしたい方に
オススメの育成講座

備前市

データ

面積：258.13km²
市の木：楷の木
市の花：さつき
市の魚：サワラ

八塔寺ふるさと村

三国溪の紅葉

Here!

関谷学校

備前焼

ぶどう

カキ

受講生募集!

ぜひご参加ください！
そう思っているあなた、
「地域のイベントをもっと良くしたいな・・・。」
「アートイベントするには何をしたらいい？」

講座期間

2025年6月→2026年1月

場所 備前市 実証イベント会場（候補） チオビタ運動公園体育館、吉永屋根付き多目的広場「なか YOSHI パーク」

常任講師 北島 琢也 岸本 和明 スミカオリ

主催：岡山県・アートで地域づくり実践講座実行委員会

ARTで地域づくり実践講座とは？

----- 地域のイベントは、地域を活気づけ、賑わいを生み出すことができ、加えて、文化芸術を活用することで、子どもから大人まで、誰でも気軽に参加できます。そんなイベントをチームでコーディネートしてみませんか？イベントの企画やマネジメント、アーティストとの交渉、広報の手法など、必要なノウハウを学べる育成講座がこの「アートで地域づくり実践講座」です。

講座で学べる3つのPoint！

1. 企画作りのノウハウ

企画の作り方から地域との連携方法、予算、危機管理、広報手段など企画に必要なノウハウを座学とワークショップで学びます。最後には、あなただけのイベント企画を作ることができるようになります。

2. イベント経験

地域の資源(歴史、文化、特産品など)の魅力を活かしたアートイベントを実際におこなっていただきます。成功しても失敗しても大丈夫！振り返りもおこなうので、イベント経験を積むことができます。

3. ネットワークづくり

一緒に学ぶ受講生はもちろん、講師や地域の方など、関わる方とのネットワークが広がります。修了後、受講生や講師が仲間として一緒にイベントをした事例もあります。

実証イベント

講座では、講師の指導のもと、11月に2日間、アートイベントを実際におこなってもらいます。イベントをするのが初めてという方でも、チームで実施するので失敗を恐れずチャレンジできます。



テオビタ運動公園体育館



吉永屋根付き多目的広場
「なかYOSHIパーク」

受講生全員で話し合い協力して、アートイベントのコンセプトづくりから企画、予算の計画・執行、招へいアーティスト選定、イベント準備・当日の運営まで、ゼロからすべてを行います！

特別な知識やイベント経験がないけど大丈夫？

やる気があれば大丈夫！講師の指導のもとノウハウの取得やイベント体験ができるので初心者でも安心です。

備前市に住んでいないけど、参加してもいいの？

Q&A

住所は問いません。講座で学んだノウハウを使って、地元でイベントを企画している修了生もいます。

自分がしているイベントをもっとよくしたい！

講座では、イベント企画に必要なコツが学べるので、いままでの経験に不足していた点や改善できる点を見つけることができます。

常任講師 Profile



きたじま

北島

たくや

琢也

株式会社 KAMP
代表取締役 / プロデューサー
協同組合西泰選町商店会 理事

東京から岡山に帰省し泰選町に拠点を構え、街のカルチャーづくりに取り組む。ローカルからグローバルに様々なプロジェクトの企画、運営、クリエイティブディレクションに携わる。最近では、台湾でのローカルカルチャーイベント企画や、泰選町商店街を巻き込んだ日本初の World ID を利用した地域経済を活性化させる web3 プロジェクトをスタートしている。

3名の常任講師が
受講生をバックアップ
します！
その他、特別講師による
講義も予定しています。



きしもと

岸本

かずあき

和明

奈義町現代美術館 館長

勝央町出身。奈義町美術館・図書館の開館準備室学芸員として勤務。奈義町現代美術館開館以来、今日まで美術館管理・運営全般に携わり、多くの展覧会・イベントの企画・運営に関わる。2014年、館長就任。2015年から「美作三湯芸術温度」キュレーター。2016年、第17回「福武教育文化振興財団」奨励賞受賞。2022年、「森の芸術祭 晴れの国・岡山」地域文化アドバイザー就任。



スミカオリ

パートタイマー
(ヨノナカ実習室 実習助手・さざなみハウス 書生・日本捏造協会 会員)

岡山生まれ岡山育ち。学校教育に20年携わった後、独立。ヨノナカ実習室では、調理実習や木工実習のように、対話や表現の実習活動やヨノナカへのいっちょかみに挑戦する。無責任雑誌編集の会、不器用な人のための編み物の会、100時間デ名著、作文応援団などを継続中。本講座の令和4年度受講を機に、受講生仲間と牛窓話茶会に参加し、そのまま牛窓に通っています。

先輩の声

----- 受講修了生の皆さんに
講座の感想を聞きました！

この講座で自分は何ができるか始める前は不安もあったし、講座を受けてみて大変なことも実際あったけど、普段できない経験や楽しさがありました。そして色んな人たちにも出会え、新しい繋がりができました。もし迷っているならぜひ一歩を踏み出して挑戦してみてください。不安な気持ちや大変な事以上に素敵な経験ができると思います。(30代/女性)

結論から言うと、「受講して良かった」です。そもそもイベントに参加したことはあっても、「なにをしようかな？」から作ったことはありませんでした。受講生の数だけアイデアがあり、それをどうやって地域に活かすか、どうすれば来場者が楽しめるのか、何をしたら地域の住人が喜ぶのか、イベントを通してのギフトを考えた8カ月はとても豊かでした。課題もあるし大変なこともありますが、卒業後も自分でイベントを作って開催されているOBがたくさんいらっしゃいます。必要な知識と流れが分かるので、長い目で見れば経験しておく楽しい講座ですよ。いつか何かやりたいならぜひ！(40代/女性)

講座で初めて会った、それぞれ違う道を歩んできた人達が、思いを一つにまとめてアートのイベントを開催するまでには、色々なことが当然起こると思いますが、その事も含めて学びになると思うのでぜひ参加してみてください！(40代/男性)

講座修了後の支援もあります

- ・講座修了生が企画したイベントを支援
- ・翌年度以降のフォローアップ講座の実施

スケジュール

Schedule

月に2回(計13回)程度講座を開き
イベント開催のノウハウを学びます。
※原則土曜日・備前市内で開催します。

初回日時

6月7日(土) 10:00~16:00

場所 備前市役所 本庁舎
(備前市東片上126番地)

月	講座テーマ
6	オリエンテーション 講座内で、第2回目以降の講座の予定表を配布します。
7	企画を考える 実証イベントのコンセプトを決めます。イベントに必要なノウハウを学びます。
8	企画・イベント概要の決定 広報を学ぶ(WEB・チラシ・クラウドファンディング・プレス対応等) グループに分かれてイベント準備を進めます。
9	地域とのつながり方を学ぶ 必要に応じて、地域の方に向けたイベント説明会を行います。
10	実証イベント準備
11	最終確認 & 実証イベント
12	実証イベント振り返り
1	イベント企画書の作成 イベント企画の発表・講評 修了式

申込書は裏面へ